



#17 Supporting a subordinate

- Dooryoo: ちょっといいですか。
- Dooryoo: 和田^{わだ}さんのことなんですけど。昨日^{きのう}もかなり悩^{なや}んでいたみたい
なんですよ。
- Jooshi: そうか。プライドさん、様子^{ようす}を見て和田^{わだ}さんに声^{こえ}をかけてみて
くれるかな。
- Student: はい、わかりました。
- Dooryoo: 部長^{ぶちよう}、そろそろ行^いきましようか。
- Jooshi: じゃ、頼^{たの}んだよ。
- Student: はい、承知^{しょうち}しました。
- Student: 和田^{わだ}さん、作業^{さぎよう}はどうですか。
- Buka: はい、何^{なん}とか。
- Student: 何か手伝^{なに てつだ}いましょうか。
- Buka: ありがとうございます。でも大^{だい}丈^{じやう}夫^ぶです。もう少^{すこ}し自^じ分^{ぶん}でやっ
てみます。
- Student: そうですか。 よければ、いつでも相談^{そうだん}に乗^のりますよ。
- Buka: はい、ありがとうございます。